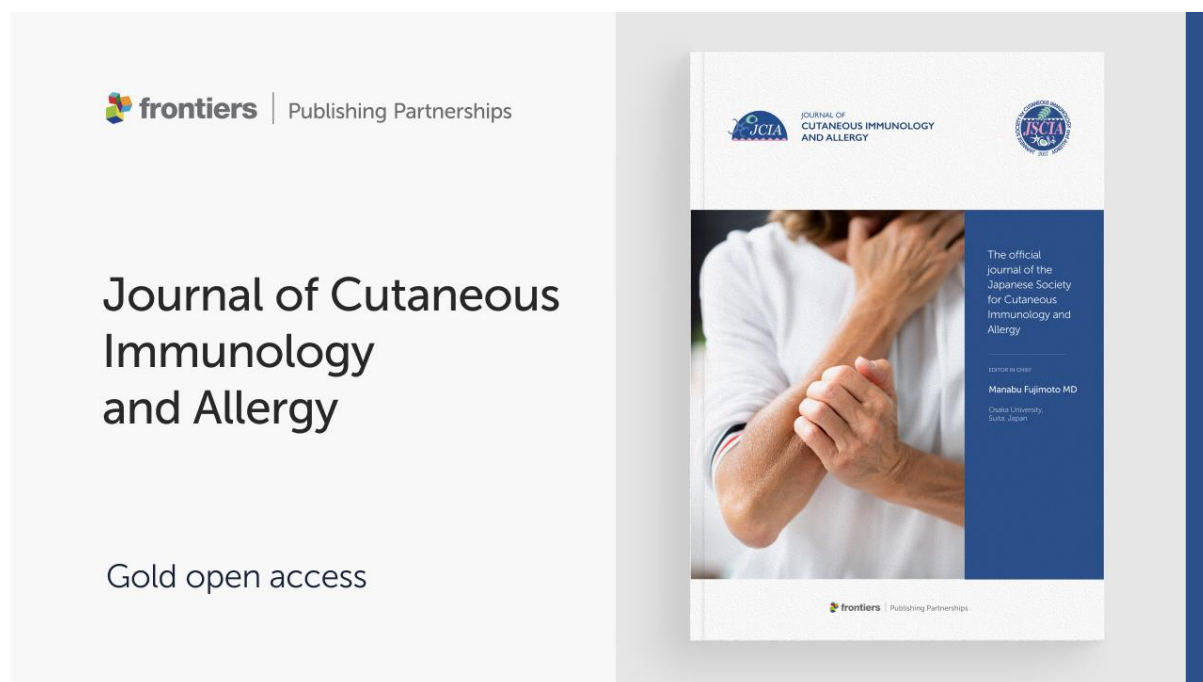


Frontiers celebrates first open access publishing agreement in Japan

ゴールドオープンアクセス出版社であるFrontiers社は、日本皮膚免疫アレルギー学会（JSCIA）と締結した新たな契約に基づいて、Journal of Cutaneous Immunology and Allergy（JCIA）を発行します。この契約は、Frontiers社の日本における初の出版パートナーシップとなります。



JCIAは、皮膚科学分野の幅広いトピックに関する査読済みの質の高い研究を発表しています。このジャーナルは、皮膚免疫学とアレルギーに特に重点を置き、分子研究から臨床調査や観察までカバーしています。JSCIAの公式ジャーナルとして、すべての皮膚研究者および皮膚科医の研究のための国際フォーラムとして貢献します。

日本皮膚免疫アレルギー学会理事長の加藤則人教授は、この契約について次のようにコメントしています。「私たちは、Journal of Cutaneous Immunology and AllergyがFrontiers社に移行することを嬉しく思います。近年、皮膚免疫とアレルギーの研究は大きな進歩を遂げ、新しい治療法が生まれています。オープンアクセスにより、新しい研究が世界の科学コミュニティに届き、治療の選択肢がさらに増える可能性につながります。」

JSCIAは、生物学や医学の分野で成長し続けるFrontiers社の出版パートナー（ポーランド生化学会、実験生物学医学会、スロバキア科学アカデミー生物医学研究センター、生物医学研究所、その他パートナーを含む）のコミュニティに加わります。

Frontiers社の出版パートナーシップ責任者、ロビン・マグリッジ氏は次のように述べています。「私たちのチームは、日本初の出版パートナーシップを締結することを誇りに思っています。Frontiers社は、国際的な知識交流の促進のために、グローバルな提携に取り組んでいます。JSCIAとの新しいパートナーシップは、科学の進歩に対する共通のビジョンに基づいて構築されています。」

このジャーナルは現在投稿を受け付けており、2024年1月までにFrontiers社に完全に移行する予定です。Frontiers社のパートナー機関に所属する研究者は、論文掲載料(APC)のサポートも受けることができます。ここで資格があるかどうかを確認してください。

日本皮膚免疫アレルギー学会は、日本皮膚アレルギー学会、日本接触皮膚炎学会、皮膚脈管・膠原病研究会の3つの主要な皮膚科の学会が統合されて2017年に発足しました。接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、職業性皮膚疾患、食物アレルギー、膠原病などの幅広い疾患と皮膚免疫・アレルギーに関する基礎研究を対象としています。

JSCIAは、研究活動を促進し、学術出版を支援し、研究者が自身の研究を発表するプラットフォームを提供することにより、この分野の発展に貢献しています。また、JSCIAは教育においても重要な役割を果たしており、皮膚免疫学とアレルギーの分野でのキャリアを追求したい医学生、研修医、若手研究者に研修の機会とリソースを提供しています。

Frontiers社は、被引用回数第3位で、世界第6位の規模の学術出版社です。世界でトップの専門家による画期的な発見を公開しています。科学者は社会に力を与えます。私たちのミッションは科学をオープンにすることで科学的発見を加速させることです。私たちは研究者をあらゆる活動の中心に据え、研究コミュニティが健康的な地球で健康的な生活を送るために必要なソリューションを開発できるようにします。カスタムメイドのテクノロジー、人工知能、そして厳格な品質基準を特徴とする当社の研究記事は21億回以上閲覧されており、すべての人に開かれた研究の力を示しています。